

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 64-042789

(43)Date of publication of application : 15.02.1989

(51)Int.Cl.

G07F 9/00

G07B 1/00

(21)Application number : 62-200579

(71)Applicant : OMRON TATEISI ELECTRON CO

(22)Date of filing : 10.08.1987

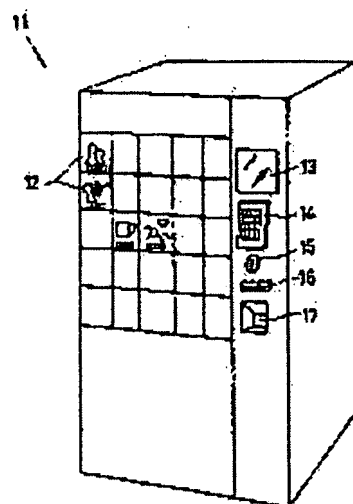
(72)Inventor : TAKEBAYASHI HAJIME

(54) AUTOMATIC VENDING MACHINE

(57)Abstract:

PURPOSE: To attain a management and sales with excellent service performance by discounting the price of a commodity selected successively and designated next according to a commodity selected and designated early.

CONSTITUTION: The meal ticket vending machine 11 is provided with lots of menu selection buttons 12,..., a guide display panel 13, a keyboard 14, a coin deposit port 15, a paper money insert port 16, and meal ticket discharge port 17 as customer reception sections for the operation to purchase meal ticket in front of the machine 11. The menu selection buttons 12,... are formed in blocks for every menu, and each block button is depressable, each button 12 has menu illustration and prices are also displayed, and a selected menu is designated and inputted corresponding to the display panel by selecting any of illustrated menus and depressing the selected button. In the case of purchasing plural kinds of commodity at once, the price of a commodity going to be selected next is revised into a discount price depending on the commodities selected early and designated. Thus, the automatic vending machine offering high service performance is obtained.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

⑫ 公開特許公報(A) 昭64-42789

⑤ Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和64年(1989)2月15日

G 07 F 9/00
G 07 B 1/00B-6727-3E
E-7347-3E

審査請求 未請求 発明の数 1 (全4頁)

⑬ 発明の名称 自動販売機

⑭ 特 願 昭62-200579

⑮ 出 願 昭62(1987)8月10日

⑯ 発 明 者 竹 林 一 京都府京都市右京区花園土堂町10番地 立石電機株式会社
内

⑰ 出 願 人 立石電機株式会社 京都府京都市右京区花園土堂町10番地

⑱ 代 理 人 弁理士 永田 良昭

明 細 書

1. 発明の名称

自動販売機

2. 特許請求の範囲

1. 販売すべき複数種の商品を表示し、この表示された商品を指定して入力することにより商品を販売する自動販売機であって、先に選択して入力指定した商品により、次に選択して入力指定する商品の料金を割安に変更して販売する

自動販売機。

3. 発明の詳細な説明

(イ) 発明の分野

この発明は、例えば食券販売機、乗車券販売機あるいは物品販売機に適用されるような自動販売機に関し、さらに詳しくは購入数が多い場合に割引いて販売できるようにしたサービス性に富む自動販売機に関する。

(ロ) 発明の背景

一般に、この種の自動販売機は、一度に多くの

商品を購入しても、割引いて販売するような販売機能が加味されていないので、割高感を生じさせたり、購買意欲を減退させるなど利用者に対するサービス性が乏しい問題を有していた。

例えば、レストラン等で食事券と飲物券とを同時に購入するような場合、その購入料金を割引いて販売するようなサービス性のよい管理販売を図ることができなかった。

(ハ) 発明の目的

この発明は、複数種の商品を購入する場合に限り、その商品の料金を割引いて販売するようにした割引販売機能を持たせた自動販売機の提供を目的とする。

(ニ) 発明の構成

この発明は、販売すべき複数種の商品を表示し、この表示された商品を指定して入力することにより商品を販売する自動販売機であって、先に選択して入力指定した商品により、次に選択して入力指定する商品の料金を割安に変更して販売する自動販売機であることを特徴とする。

(ホ) 発明の作用

この発明によれば、一度に複数種の商品を購入するとき、先に選択して入力指定した商品により、次に選択して入力指定する商品の料金を割安に変更して販売することができる。

(ヘ) 発明の効果

このため、自動販売機でありながら、商品の購入量に応じて割引取引することができ、商品購入時に割高感を生じさせたり、購買意欲を減退させることのない利用客の心をとらえたサービス性の高い自動販売機となる。

(ト) 発明の実施例

この発明の一実施例を以下図面に基づいて詳述する。

図面は食券販売機を示し、第1図において、この食券販売機11は、前面に、食券を購入操作するための接客対応部として、多数のメニュー選択ボタン12…と、案内表示面13と、キーボード14と、硬貨投入口15と、紙幣投入口16と、券放出口17とを装備している。

制御回路によって駆動される。

第2図は食券販売機の制御回路ブロック図を示し、CPU21は、ROM22に格納されたプログラムに沿って各回路装置を制御し、その制御データをRAM23で記憶し、かつ読出し処理する。

貨幣処理装置24は、投入および挿入された貨幣の真偽判別を行ない、真貨幣は案内表示面13でその投入金額を表示し、偽硬貨は券放出口17に、また偽紙幣は紙幣挿入口16に返却する。この際、計数結果によって釣銭が必要ならば、釣銭を券放出口17に放出する。

食券発行装置25は、ロール紙状に巻かれた印刷用紙に、発売する食券をサーマル印刷し、印刷した用紙を定寸切断して発券する。

このように構成された食券販売機の処理動作を第3図のフローチャートを参照して説明する。

通常、食券販売機11は、利用客が使用していない状態では、

第1ステップ31で、案内表示面13は「お好みのメニューを押して下さい。」を表示して、発券

このうちメニュー選択ボタン12…は、各種メニュー毎に区画形成されて押下可能に配置され、該ボタン12にメニューが図形表示されると共に、その料金が併設表示され、この図形表示されたメニューを選択して押下入力することで、選択されたメニューが表示面と対応して指定入力される。

案内表示面13は、入力操作順序、投入した金額、発売中、発売停止等の種々の接客案内事項をCRTによって表示する。

キーボード14は、メニュー指定用の座標入力キーと、入力料金精算用の精算キーと、取引中止用の取消キー等の各種キーを備えている。

硬貨投入口15および紙幣挿入口16は、購入料金がここに投入および挿入されて、所定の入力操作に基づいて、指定入力された食券が券放出口17より放出される。

この食券販売機11の内部にあっては、硬貨や紙幣の真偽判別、金種判別を行なう検銭部等を備えた貨幣処理装置と、メニューに対応して食券を発行する食券発行装置が内蔵されており、後述する

可能な待機状態にある。そして、各種メニュー選択ボタン12…にあっては、

第2ステップ32で、各種メニュー毎に区画形成されてメニューが図形表示されると共に、そのメニュー料金が照光表示されて、

第3ステップ33で、利用客がその図形表示されたメニューを選択して押下入力可能な状態に待機されている。そして、

第4ステップ34で、利用客が所定のメニュー選択ボタン12を押下入力することで、

第5ステップ35で、指定入力されたメニューの金額が案内表示面13で表示されると共に、「取引了承のときは精算キーを、取消のときは取消キーを押して下さい。」を表示する。このとき、

第6ステップ36で、指定入力されたメニューと対応して割引可能なメニューを点滅表示し、

第7ステップ37で、その点滅表示した割引可能なメニューの金額を割引金額に変更して各メニュー選択ボタン12…で表示し、また案内表示面13にあっては、「追加メニューを選択して下さい。」

を表示する。

第8ステップ38で、その割引表示されたメニューを選択して利用客が押下入力可能な状態を待機し、利用客がその割引表示されたメニューを選択して、適宜押下入力される。そして、利用客の了解により、

第9ステップ39で、精算キーが押下されるが、このときメニュー変更等で食券の購入中止の場合は、

第10ステップ40で、取消キーが押下されることに基づいて、第1ステップ31に戻って入力し直される。

ところで、上述の第9ステップ39で、メニューの購入操作に基づいた利用客の了解により精算キーが押下されると、

第11ステップ41で、購入料金の金額を表示して「合計〇〇〇円を入れて下さい。」を表示する。そして、利用客の了解により、

第12ステップ42で、食券購入料金の投入を受け、

第13ステップ43で、利用客が所定料金を投

入すると、

第14ステップ44で、その選定したメニューに対応する食券を券放出口17より発券する。

第4図はこの発明の他の実施例を示し、これは飲酒券とおつまみ券とを文字表示して発券する自動発券機26であって、

例えば、図中「ビールA500円」を選択して入力指定すると、この入力指定商品と対応する各おつまみ商品の値段を、それぞれ以下のように割引表示し、

おつまみA300円→200円

枝豆200円→150円

ピーナツ100円→80円

このうち割引表示された「ピーナツ80円」を入力指定すると、

「合計580円」を表示し、これに基づいて料金を投入することにより、ビールA券と、ピーナツ券が放出される。

この場合、ピーナツを入力指定せずに、500円を投入すれば、ビールA券のみ発券される。

上述のように、一度に複数種の商品を購入する場合に限り、先に選択して入力指定した商品により、次に選択して入力指定する商品の料金を割安に変更して販売することができる。

このため、自動販売機でありながら、商品の購入に応じて割引取引することができ、商品購入時に割高感を生じさせたり、購買意欲を減退させることのない利用客の心をとらえたサービス性の高い自動販売機となる。

4. 図面の簡単な説明

図面はこの発明の一実施例を示し、

第1図は食券販売機の斜視図、

第2図は食券販売機の制御回路ブロック図、

第3図は食券販売機のフローチャート、

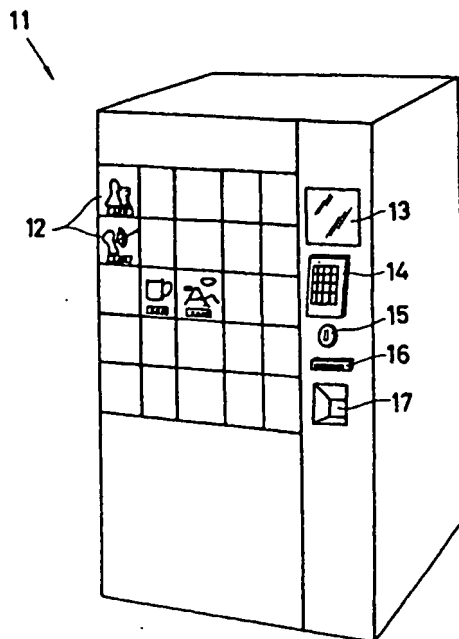
第4図はこの発明の他の実施例を示す自動発券機である。

11…食券販売機 12…メニュー選択ボタン

21…CPU 26…自動発券機

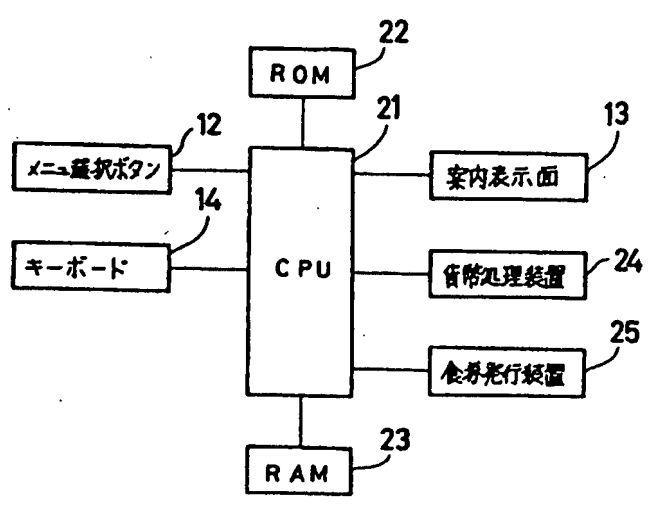
第1図
食券販売機の斜視図

11…食券販売機
12…メニュー選択ボタン



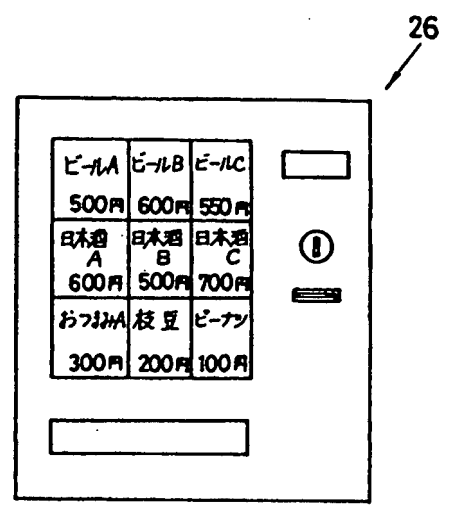
21... CPU

第 2 図
食券販売機の制御回路ブロック図



第 4 図
他の実施例を示す自動形券機

26-自動形券機



第 3 図
食券販売機のフローチャート

